

「保育園をきれいにしてね！」



昨年も3回、近隣の保育園とこども園に雑巾の寄贈を行いました。今回も届けにいかれました。大きな雑巾20枚、小さな雑巾110枚を渡すと、「頑張って掃除をします」と答えてくれました。この小さな雑巾は古タオルの半分の大きさで子どもたちが使いやすい大きさになっています。一緒に届けてに行ってきたご利用者様は、園児からペンダントをもらい、大喜びされていました。「私は、あと5年は生きる、頑張るよ。ここでみんなが聞いているから嘘は言えないね」と前向きな力強い言葉を頂きました。先生からは、「最近雑巾の使い方、しぼり方も知らないなので、この雑巾が役立っています」とお話ししてくださいました。誰かの役に立てることを実感しつつ、みなさんの思いが形にできる場所を目指していきたいです。

車内では秘密の話も...

送迎の車中は、短い時間ではありますが、普段話せないことも言えてしまう不思議な空間です。「今日、こんなことがあったよ?」「あんたはよくやっているね」など、みなさんの前では言えない話が出てきます。「あんたの話はラジオより面白いよ」と言われたこともしばしば...。みなさんもぜひ、車中で秘密の会話を楽しみませんか?こんな楽しみもあるのも嘉響の醍醐味ですよ。



ホームページ

<http://www.surugakai.net/kakyou>



静岡県葵区富沢 1542-39 社会福祉法人 駿河会 晃の園内 電話 054-270-1210
見学・体験随時受け付けております。(担当:山本・加藤)

発行/デイサービスセンター 嘉響(季刊誌)

ひのくま

令和元年 7月 発行



新しい時代「令和」になりました。



4月より嘉響に配属された、相談員の加藤真子です。9年間、特別養護老人ホーム晃の園で勤務していました。デイサービスは初めてですが、みなさんのお役に立てるように精一杯がんばりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

「洗濯物を干すのが大変になってきたよ」



「最近、洗濯物を干していたら、転んでしまったよ。」「なかなか腕が上がらないよ。」「洗濯ばさみをするのがめんどくさくなってきたよ」何気ない話から、洗濯物の話になりました。継続してできるよう、洗濯物を干す・たたむ動作の確認と体操を行いました。洗濯の一連の動作では、バランスが必要です。足を踏ん張って、転ばない力をつける足の体操をしました。実践では、「家ではいつもやっているよ」「私はこうやって干して工夫しているよ」とお話をされていました。

「今の家で暮らしたい。今の状態でいたい。」というお気持ち強いご利用者様が多い中、今回の体操について伺うと、「すごく良かった。これからも頑張りたい」という声を頂きました。みなさんの不安を解消するお手伝いをこれからもしていきたいです。

子供の成長を願い・・・～ほおば餅づくり～



「今の若い衆、兜を飾って、スーパーで柏餅を買うだけでしょ？」こんな言葉から、昔から作られているほおば餅を教えていただきました。よく生地を混ぜ、おさ湯をいれることで、柔らかくなることを丁寧に説明してくれました。また、「昔からの風習が薄れているのが、残念だな。こうやって教えることができうれしい」とお話をされていました。

年月が経ち、今まで作っていたことができなくなったのではなく、作る機会がなくなってきた現在。「まだまだ現役」と自信を持てる活動をしていきたいです。



旬のものは旬に食べたいですね

新じゃがを頂いたので、ポテトチップスを作ってみることになりました。「揚げ物は作ったことがないな・・・」と不安そうでしたが、いざ作ってみると、「売り物のポテトチップスを見ると、こんな感じだから、揚げ時かな」と調節してくださいました。「旬の物を食べることは自然の恵みに感謝していただくことだよ。」と教えてくださいました。

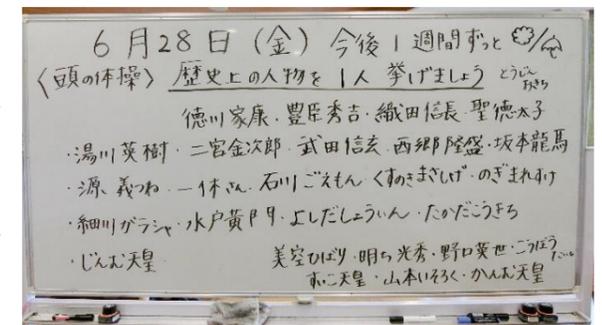


こんな頭の体操はいかが？



最近、ホワイトボード使って、「夏の野菜」「人物名」「夏といえば・・・？」など様々なお題に合わせて一人ずつ答えていく頭の体操を行っています。
「自分の前になるとなかなか、答えられない」
「あ！ここまででているけど、出てこない」なんて声も。

みなさんの前で発表することは勇気が必要かもしれませんが、みんなで同じ課題に向かうことにより脳が活性化するようです。ヒントを出すと、次々と言葉が出てきます。プリントを使った頭の体操もありますが、たまには、こんな頭の体操もいかがですか？



熱中症・脱水症にならないように・・・

昨年の夏は、非常に暑く、熱中症の報道を何回目も目にしました。今年の夏の予想は、例年通りと出ていますが、嘉響では、暑くなったり、涼しくなったりして、寒暖の差についていけず、体調を崩す方もいました。「トイレに何回も行かないといけなから、お水を控えている」という声も上がり、みなさんと熱中症・脱水症にことについて考えることにしました。



嘉響の看護師より

- ・睡眠、食事はしっかりとしましょう。
 - ・こまめに水分補給をしましょう
 - ・クーラーや扇風機を使いましょう
- 屋内にいても熱中症になります。気を付けましょう